

令和8年6月30日 経済教育委員会資料 教育委員会

目 次

【報告事項】

1 水橋学園スクールバスの事故発生について	1 頁
-----------------------------	-----

水橋学園スクールバスの事故発生について

[学校再編推進課]

1 概要

水橋学園スクールバスの事故発生について報告するもの。

2 発生日時

令和8年6月24日（水）16時00分（緊急停止信号発信時刻）

3 発生場所

あいの風とやま鉄道伊勢屋踏切（水橋伊勢屋地内）

4 事故の内容

下校のため水橋西部地区センターに向けて水橋学園を15時55分に発車したスクールバスが、上記の踏切に進入した際、遮断機が下りたため、踏切内で停車した。

当該バス運転士が、直ちに踏切の非常停止ボタンを押したところ、接近していたJR貨物の列車は踏切約400メートル手前で停止した。

列車停止確認後、踏切内で児童を下車させ、踏切外北側の安全な場所に避難させた。

5 発生時の状況

① 運転士

所属：株式会社アイカワ（運行業務委託事業者）
50代、男性、大型自動車第2種免許保有

② 車両及び規格

市所有の大型バス（乗車定員82人）
全長11.45m 全幅2.49m 全高3.12m

③ 乗車児童数

前期課程4～5年生 22名

6 被害の状況

人身被害：無し

車両損傷：無し

鉄道への影響：あいの風とやま鉄道上下線で最大35分の遅延発生

7 事故の発生原因

事故の発生原因については、運転士へのヒアリングを行うなど調査中。

8 教育委員会及び学校の対応

① 6月24日

水橋学園を通じて全保護者宛てに謝罪文書を配布。

② 6月25日以降

- ・臨床心理士を派遣し、水橋学園と連携しながら児童の心のケアにあたっている。
- ・原因が判明するまで、水橋学園教員が当該踏切を通る下校便のスクールバスに乗り込み、乗車する児童の支援を行うとともに、学校教育課指導主事を水橋学園に派遣し、当該踏切における見守りを行う。
- ・25日に運行業務委託事業者から事故報告を受け、委託事業者に対して、事故の事実関係の徹底的な調査や発生原因を踏まえた業務体制の改善、再発防止策を求めた。

